

令和5年度 自己点検・自己評価報告書

1.教育理念・目的・育成人材像

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【1-1】教育理念、目的、育成人材像		評価
1-1-1	理念・目的・育成人材像は、定められているか	A
1-1-2	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	A
1-1-3	社会のニーズ等に踏まえた将来構想を抱いているか	A
《現状・課題・改善案》 理念に沿った目的・育成人材像になっている。 理念・目的・育成人材像はそれぞれのクラス（コース）で目標があり、育成する人材像を目指して学生指導をしている。 理念等の達成に向けて、今年度介護クラスは新たな取り組みとして初任者研修を実施した。 中期的（3～5年程度）な将来構想として、学校法人の設立、留学生の増員計画、卒業生に対する就労後支援、海外からの直接採用の拡大等を掲げており、それぞれ数値目標や計画について定めている。 また、これらの将来構想は、経営ビジョン発表会を通して教職員に周知している。		

2.学校運営

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【2-2】運営方針		評価
2-2-1	理念等に沿った運営方針を定めているか	A
《現状・課題・改善案》 運営方針は、理念や目標を踏まえ明確に定められている。 また、教職員に対しては経営ビジョン発表会、経営会議等で周知している。		
点検中項目【2-3】事業計画		評価
2-3-1	理念等を達成するための事業計画を定めているか	A
《現状・課題・改善案》 中期事業計画（3～5年程度）も単年度の事業計画も定められている。 また、事業計画の施行体制、業務分担等も明確にできている。		
点検中項目【2-4】運営組織		評価
2-4-1	学校運営のための組織を整備しているか	B
《現状・課題・改善案》 学費・寮費などの規程は、今後整備を行い周知していく必要がある。 意思決定は、経営企画室会議、経営会議にて組織的に行われている。 予算編成の明確化は不十分である。年間を通しての見通しや資金繰り、賞与を重視した内容でキャッシュフローを作成している。 組織整備の観点から、今年度よりグループウェアを導入した。これにより、情報の共有と記録の保存が効率的に行えるようになった。 業務の見直しは定期的に行えているが、学校の規模や事業が拡大していく中で、今後も継続して改善を行っていくことが必要。		

点検中項目【2-5】人事・給与制度		評価
2-5-1	人事・給与に関する制度を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>採用基準・採用手続きについては、規程等で明確化し適切に運用している。</p> <p>但し、必要な人材が不足しているところもあるため、引き続き採用と人材育成、業務の効率化等の意識改革に力を入れていく必要がある。</p> <p>また、給与支給等に関する基準、昇任・昇給の基準、人事考課制度についても規程を明確化し、適切に運用している。</p>		
点検中項目【2-6】情報システム		評価
2-6-1	情報システムに取組み、業務の効率化を図っているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生情報は、accessやWSDB等にて適切に管理している。</p> <p>また、在留期間更新業務等はグーグルスプレッドシートを使用してタイムリーに情報提供している。</p> <p>学生指導においてもWeChat、Instagram、Facebook、Messenger等を活用することで業務の効率化を図っている。</p> <p>システムのメンテナンスは定期的実施している。不測の事態に対してバックアップも行っている。</p> <p>但し、accessの不具合で他の業務が止まるなどが生じているため、抜本的な改善が必要である。</p>		
点検中項目【2-7】入国、在留に関する管理		評価
2-7-1	入国、在留に関する管理、指導、支援が適切に行われているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入管法上の留意点については、SNS等利用して学生への伝達・指導を漏れなく実行している。</p> <p>出席不良など、在留上問題のある学生に対しての個別指導は都度行っている。</p> <p>不法残留者、資格外活動違反者、犯罪関与者等を発生させないため、オリエンテーションや教職員による啓発活動を日常的かつ継続的に行っている。</p>		

3.教育活動

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【3-8】目標の設定		評価
3-8-1	クラス毎に到達レベルを明確にしているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>クラス毎に、月間、中長期の目標を設定し、教師と学生に共有をしている。</p> <p>教育到達レベルと理念を別々に考えているので、現状適合しているかどうか分からない。</p> <p>学生が目指す就職のためにはどのような資格・免許が必要なのか、入学前の面接時から周知している。</p> <p>また、入学後も試験のスケジュールを学生に伝えるとともに、対策授業や申し込みのフォローなどを細かく行っている。</p>		
点検中項目【3-9】教育方法・評価等		評価
3-9-1	教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>目標達成のためのカリキュラムが編成され、定期的に見直しも行っている。</p> <p>学生のレベルと必要資格の取得状況、学生アンケートによる学生の希望を考慮した授業が行われている。また、教師の勉強会を開催し、授業内容の向上に努めている。</p> <p>入学時期に合わせた年間・月間の授業計画は作成しているが、シラバス・コマシラバス等は作成していない。</p> <p>カリキュラムは毎年度末に振り返りを行い、合格率などの反省を踏まえながら改訂を行っている。</p>		
点検中項目【3-10】クラス運営		評価
3-10-1	学生に合ったレベルでクラス編成を行い、クラス運営を適切に行っているか	A
3-10-2	授業評価を実施しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>入国前のオンライン面談とJLPT既得級確認、入国後のプレイスメントテスト結果によってクラスを編成している。</p> <p>レベル設定は、CEFRの評価項目を参考として4技能を評価。「使う日本語」を意識している。</p> <p>授業の進度に合わせてテストを行い、理解度や到達度の確認を行っている。</p> <p>授業記録簿や出席簿は、その日の担当教員が正確に記録している。毎月の締め日にはクラス担任が最終確認を行っている。授業記録を毎日引継ぎし定期的にクラスミーティングを行うことで、担当教員同士で情報を共有している。</p> <p>授業そのものを評価する体制はできていないが、勉強会や授業見学で専任・非常勤を問わずアドバイスする機会を設け、ブラッシュアップに繋げている。</p> <p>模擬授業に対する感想やアドバイスを共有することや、学生アンケートの結果をフィードバックすることで授業の質の向上を目指している。</p>		

点検中項目【3-11】 成績評価		評価
3-11-1	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>各段階でレベル修了テストを行い、統一した判定基準で成績評価を行っているが、基準は学生に明示していない。</p> <p>レベル修了テストを行った学期の学期末にコメントを添えた成績表を渡している。</p> <p>成績評価の基準を適切に運用するための会議等は開催していない。</p>		
点検中項目【3-12】 資格・免許の取得の指導体制		評価
3-12-1	目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	A
3-12-2	資格・免許取得の指導体制はあるか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>取得目標としている資格・免許の内容・取得の意義については、選抜面接、入学前面接、授業内の説明会の時間で周知している。また、カリキュラム自体にJLPT対策が入っている。</p> <p>特定技能試験は、必要な時期までに合格するように、事務と教務で連携して学生に案内している。</p> <p>特定技能介護試験のデジタル教育ツールについては、介護実務者研修修了者および初任者研修修了者が整備と管理を行っている。看護師国家試験においては、ほぼすべての教員が看護師経験あり。</p> <p>特定技能介護の不合格者には改めて学習を促し、事務と連携して最短のタイミングで受験させている。</p> <p>看護師国家試験不合格の場合は、准看護師支援プログラムでフォローを行っている。</p>		
点検中項目【3-13】 教員・教員組織		評価
3-13-1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	A
3-13-2	教員の組織体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>勉強会や授業見学を通して、教員が必要な知識や能力の習得に努めている。但し、全体として明示したり確認をするようなことは行っていない。</p> <p>クラス担当を検討する際は、レベルやクラスを考慮し教員を配置している。</p> <p>教員の募集、面接、採用までの流れはある程度決まっているが規程等はない。昇格措置についてはステージ制度を導入している。</p> <p>教員一人当たりの授業時数、学生数等は把握できている。</p> <p>SNSを用いて授業の引継ぎを担当教員間で行うことにより、学習状況だけでなく学生の様子も詳細に把握でき、授業や学生指導に活かすことができている。また振り返りミーティングを行い、新しいアイデアを授業に反映させている。</p> <p>コース毎のミーティングで授業方法や内容について共有し、問題点があれば解決策を検討している。</p> <p>また、休業期間を使って勉強会を開催し、授業内容や教育方法の改善に取り組んでいる。</p> <p>専任教員と非常勤教員も、クラスミーティングで授業の振り返りや問題点の共有、解決方法の検討をしている。</p>		

点検中項目【3-14】教員及び職員の資質向上		評価
3-14-1	教員及び職員の資質向上への取組を行っているか	B
《現状・課題・改善案》 新人研修の計画はできているが、中堅や有役職者の研修は十分ではない。 関連業界との連携は取れているコースもあるが、研究や研修については、部署やチームによって偏りがある。 セミナーや日本語教師の外部勉強会等は周知している。学校の方針に合った広報や営業のスキルアップにつながる活動も評価されるようにしていきたい。		

4.教育成果

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【4-15】成績・試験結果		評価
4-15-1	成績、試験結果の管理をし把握しているか	A
《現状・課題・改善案》 レベル修了テストの結果はアクセスで保管、管理している。クラス内での確認テストや模試の結果などは、担任が紙かデータで保管、管理を行っている。 修了・卒業の判定は、卒業認定試験結果、内定状況、資格試験の可否などをもとに行っている。 学生の自己評価は、candoリストで評価をさせているクラスもあるが、全体的な取り組みとはなっていない。今後、統一を図っていきたい。		
点検中項目【4-16】就職支援		評価
4-16-1	就職目的の学生の支援ができてるか	A
《現状・課題・改善案》 学生名簿を作成し、アルバイト状況から就職活動まで一元管理し、都度更新もしている。 また、学生と面談を行い、進路把握に努めている。 介護・看護クラスでは、アルバイト面接、就職説明会、面接会を実施している。 また、就職先である介護施設や病院の担当者を対象とした介護部会や事務部会、看護部会を実施し、情報共有の場としている。 就職クラスでは、企業訪問の際に見学を行っている。		
点検中項目【4-17】卒業生の社会的評価		評価
4-17-1	卒業生の進路、社会的評価を把握しているか	A
《現状・課題・改善案》 就職クラスでは、企業訪問や面談の際に卒業生の就業状況を聞き出し、現状を把握している。 介護や看護クラスは、OBOG会や激励会等の行事を通して、直接卒業生の状況を把握している また、就職後の面談や雇用状況の調査を行うなかで、何かあれば相談を受けられる体制を整えている。		

5.学生支援

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【5-18】進学・就職指導		評価
5-18-1	進路に関する支援組織体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>各クラスで定期的または適宜面談を行い、学生が希望する進路を把握し共有している。</p> <p>教務と事務が連携を密に取りながら、学生の希望に応じて採用募集の紹介や進路説明会などを行っている。</p> <p>採用情報などは常に最新情報を掲示し、学生が閲覧できるようにしている。また学校資料やオープンキャンパスの案内も常に最新情報を掲示し、閲覧できるようにしている。</p> <p>履歴書、自己紹介シートの添削や面接練習の体制を整えている。</p> <p>授業内で面接時の服装やマナーなども指導している。</p>		
点検中項目【5-19】中途退学への対応		評価
5-19-1	退学率の低減が図られているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>退学の要因は、主に就職、帰国、秋入学への進学、配偶者ビザへの変更などであり、退学者数も把握できている。</p> <p>1か月の出席率が8割を下回った生徒については面談し、理由と今後について指導を行っている。</p> <p>面談記録は卒後1年間は保存している。また、海外のエージェントを通じて学生の親と連絡を取り、出席率が改善するよう働きかけを要望するなども行っている。</p> <p>退学の低減に向けて、学生から相談を受けた時点で、または授業内での気づきがあった時点で個別対応を行っている。</p>		
点検中項目【5-20】学生相談		評価
5-20-1	学生に対する相談体制を整備しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生相談は、英語、ベトナム語、中国語、モンゴル語、ミャンマー語にて対応。コース変更などの相談にも、可能な限り早く対応している。</p> <p>在籍管理も適切に行っている。</p> <p>オリエンテーションを入学直後に実施し、生活面の質問にも個別で丁寧に回答している。</p> <p>特に、交通マナー、ごみ捨てのルール、避難訓練、社会人マナーなどの点は、警察や消防署、市役所と連携して教育している。また、授業内でも定期的に取り上げている。</p>		

点検中項目【5-21】 学生生活		評価
5-21-1	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	A
5-21-2	学生の健康管理を行う体制を整備しているか	A
5-21-3	学生寮の設置などの生活環境支援体制を整備しているか	A
5-21-4	日本の文化やマナー等を教育する取組を行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>独自の奨学金制度を整備している。</p> <p>また、学費の減免や分割納付制度も整備している。</p> <p>アルバイトに関する指導・支援も行っている。</p> <p>併せて、不法就労について理解を促すために、オリエンテーションで周知徹底するとともに、夏休みなどの長期休暇前にも指導を行っている。</p> <p>結核検診結果で精密検査・治療までフォローしている。病院の引率も状況に応じて行っている。</p> <p>コロナウィルス感染症等のかかった学生の対応も随時行っている。</p> <p>対象となる学生全員が国民健康保険・国民年金に加入している。</p> <p>在籍中の留学生には全員自転車保険をかけている。</p> <p>保健室は整備していない（体調不良の生徒や教員は使われていない事務室で安静してもらいながら様子を見る対応はしている）。その代わりに、看護師資格を持つ教員が常駐している。</p> <p>交通事故の相談、保険会社への対応、怪我があった場合の病院引率など、一連の手続きが全て解決するまで教職員が寄り添って対応している。</p> <p>近隣の医療機関とも連携している。</p>		

6.教育環境

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【6-22】施設・設備等		評価
6-22-1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>図書室はグループ校に設置しているもののほとんど活用されていない。また、図書やメディアは学生数に対応できるだけの取り揃えではないため、今後整備が必要。</p> <p>視聴覚教材やITを利用した授業を行うための設備として、プロジェクターやタブレットPC、オンライン授業用のアプリ等は整備されている。</p> <p>学生が授業時間外にも使用できる自習室は整備できている。</p> <p>また、各教室の照度や換気、遮音性は授業に必要なレベルで確保されている。</p> <p>衛生面では各所にアルコール消毒を、手洗い場にはペーパータオルを設置している。</p> <p>施設の定期点検も実施されており、補修も適切に行われている。</p>		
点検中項目【6-23】防災・安全管理		評価
6-23-1	防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	A
6-23-2	学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>地震災害発生時の行動マニュアルは整備できている。</p> <p>また、避難方法、避難経路、避難場所を定めて、年1回全学で避難訓練を行っている。</p> <p>消防設備の整備や保守点検は法令に基づき適切に行われている。</p> <p>備品の転倒防止などの安全管理は徹底しているが、設備の入替等で完了してない箇所がある。これについては早急に対応をする。</p> <p>気象警報発令時の措置は定めていない。今後、気象の種類によって措置を定め、マニュアル化していきたい。</p> <p>教職員、学生に年1回の避難訓練と火災予防の呼びかけを行っている。</p> <p>学生は立川防災館にて地震、火災、救護の体験授業を行っている。また教職員にはAED講習会と避難梯子体験を実施している。</p> <p>防犯体制は整備していない。今後、様々な可能性を検討しマニュアル化していきたい。</p> <p>授業中の事故等発生時に対応できるよう緊急時フローを策定した。また、AEDを設置していない校舎もあるため、緊急時に近隣施設に貸し出しを依頼するための「お願いカード」を作成した。</p>		

7.学生募集

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【7-24】入学者の募集と選考		評価
7-24-1	理念・教育目標に沿った学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。	A
7-24-2	機関に所属する職員が入学志願者に対して情報提供や入学相談を行っている。	A
7-24-3	教育内容、教育成果を含む最新、かつ、正確な学校情報、求める学生像、及び応募資格と条件が入学希望者の理解できる言語で開示されている。	A
7-24-4	海外の募集代理人（エージェント等）に最新、かつ、正確な情報提供を行うとともに、その募集活動が適切に行われていることを把握している。	B
7-24-5	入学選考基準及び方法が明確化され、適切な体制で入学選考を行っている。	A
7-24-6	学生情報を正確に把握し、提出された根拠資料等により確認を行っている。不法残留者を多く発生させている国からの志願者については、学校関係者（職員等）が面接などの調査を行うよう努めている。	A
7-24-7	入学志願者の学習能力、勉強意欲、日本語能力等を確認するとともに、受け入れるコースの教育内容が志願者の学習ニーズと合致することを確認している。	A
7-24-8	入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用が明示されている。	A
7-24-9	関係諸法令に基づいた学費返還規程が定められ、公開されている。	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学生募集会議を定期的に開催し、学生の受入方針を定め、年間募集計画を策定している。</p> <p>各国語版の募集要項を作成し情報を開示している。</p> <p>海外のエージェントに対しては正確な情報提供を行っているが、募集活動が適切に行われているかの把握は十分にできてない。そのため、入学後の学生経由で把握を行ったり、必要に応じて直接エージェントに対して事実確認を行っている。</p> <p>入学選考は書類選考と面接にて行っており、これらの結果をもとに総合的に合否判断している。</p> <p>面接試験のデータ記録は、2024年度入学者から入学後3年間保存することとした。</p> <p>学生から提出された根拠資料に疑問がある場合は、都度必ず確認を行っている。</p> <p>不法残留者を多く発生させている国からの志願者のみならず、必要に応じて面接での調査を実施してる。</p> <p>入学検定料、入学金、授業料、その他納付金の金額及び納付時期、並びに学費以外に入学後必要になる費用は全て明示されている。</p> <p>学費返還条件等は募集要項に明示しており、これに基づいて処理をされている。</p>		

8.財務

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【8-25】財務基盤		評価
8-25-1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	A
8-25-2	学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 応募者数、入学者数、及び定員充足率の推移は把握できている。 必要に応じて順次設備投資を行っているが、過大にはなっていない。 最近3年間の収支状況による財務分析、キャッシュフローの状況を示すデータの作成を行い、経営会議等を通して全教職員へも情報共有はできている。 財務改善計画は専門家に意見を聞きながら5か年計画策定している。		
点検中項目【8-26】予算・収支計画		評価
8-26-1	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	A
8-26-2	予算及び計画に基づき適正に執行管理を行っているか	B
《現状・課題・改善案》 予算が出しにくい状況にあるため、現状は策定していない。 年度における経営ビジョンや方針を教職員に浸透させることに重きを置いている。 キャッシュフローや収支、支出については見える化し、周知する取り組みは行っている。 監査報告書の作成、及び監査での指摘事項についての対応は適切に行われている。		

9.法令等の遵守

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【9-27】関係法令、設置基準等の遵守		評価
9-27-1	法令や設置基準を遵守し、適切な学校運営を行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学校運営は「日本語教育機関の告示基準」を順守し、条件を満たしている。</p> <p>定期的な報告、変更・留学生受け入れ、終了等の届出も、入管法または告示基準を遵守し適切に行っている。</p> <p>学則、就業規則、給与規程等の主要な規程は整備され、適切に運用されている。</p> <p>教職員のコンプライアンス意識を高めるための取り組みも委員会を中心に行っている。</p> <p>教職員と学生それぞれに対してコンプライアンスに関する相談窓口を設置している。</p> <p>また、内容により外部専門家との連携を図っている。</p> <p>補助教材、生教材を使用する場合は、著作権法に留意して出典を明らかにすることに努めている。</p> <p>地方出入国在留管理局、その他関係官公庁等への届出、報告も遅滞なく行っている。</p>		
点検中項目【9-28】個人情報保護		評価
9-28-1	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	B
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>個人情報保護に関する取扱方針・規程定められていない。</p> <p>また、個人データの取り扱いの規定も整えられていない。これらは今後整備が必要である。</p> <p>学校が開設したサイトの運用にあたって、情報漏えい等の防止策は講じているが十分とは言えない。</p>		
点検中項目【9-29】学校評価		評価
9-29-1	自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	A
9-29-2	自己評価結果を公表しているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>自己評価の実施について、今年度はチェック項目の見直しや新規追加も行き、より実務に即した内容で点検・評価を行った。</p> <p>昨年度の評価結果を基に学校改善への取り組みを順次行っている。</p> <p>具体的には年度内で中間報告会と最終報告会を開催し、進捗情報の発表を行っている。</p> <p>3月中に法人内での取り纏めを行い、4月中にホームページに掲載し広く社会に公表している。</p>		
点検中項目【9-30】教育情報の公開		評価
9-30-1	教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	A
<p>《現状・課題・改善案》</p> <p>学校の概要、教育内容、教職員等の教育情報は、ホームページ、紙媒体、SNS等にて公開している。</p> <p>広報担当者を中心に、教職員・学生からも情報を提供してもらい、積極的に発信している。</p>		

10.社会貢献・地域交流

A：達成されている

B：ほぼ達成されているが、不十分なところがあり、改善に取り組んでいる

C：達成に向け、努力している

点検中項目【10-31】社会貢献・地域貢献		評価
10-31-1	学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 地域交流の取り組みとしては、同市内の高校との交流会を行ったり、地域の行事やお祭りに積極的に参加をしている。 長期休みの前などクラスまたはコース全体で学内や校舎周辺の公園などの清掃活動を実施した。 また、今年度も「多文化共生フェスティバル」を開催。地域住民や学生の就職先である企業等へのご案内やSNSでの告知によって多くの方々に参加いただき、国籍や文化の違いを超えて相互理解の場とすることができた。		
点検中項目【10-32】ボランティア活動		評価
10-32-1	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	A
《現状・課題・改善案》 ボランティア活動など社会活動については、募集案内を学校全体に周知し、積極的に参加するよう呼び掛けている。 ボランティア活動を行った際は、実施要項、参加人数等の実績を取りまとめ、データで保管している。 また、ボランティア活動の様子はホームページやSNSに写真付きで掲載し、実施報告を行っている。		